



●この劇に出演する俳優と役柄●

あか ば ひろゆき 赤羽弘行	キツネ、ウサギ、カエル	他
くわがきみちひこ 桑垣紀彦	カニのお父さん、カエル	他
ひらやませいいち 平山盛一	オンドリ、羊番、カエル	他
まなべみのる 間辺 稔	アフリカドラム、マリンバ演奏	他
やだ ひであき 矢田秀明	カラス、カメ、カエル	他
やない まんじろう 柳井萬治郎	ライオン、キリギリス	他
まわたり ちはる 馬渡千春	ネズミ、カニの子ども	他
やすい きくこ 安井希久子	ジャンベ演奏	他
わたなべひろみ わたなべひろみ	アリ、ヒツジ	他

●この劇を作った人たち●

げんさく げき はなし ひと 原作 (劇のもととなる話をつくった人)	イソップ
こうせい えんしゅつ はいゆう うご ひと 構成・演出 (せりふや俳優の動きをつくった人)	関矢幸雄
おんがく きょく えんそう うた しどう ひと 音楽 (曲をつくったり、演奏や歌の指導をした人)	テンバ・タナ
びじゅつ ぶたい そうち ひと 美術 (舞台の装置をデザインした人)	中地 智
しょうめい ぶたい しょうめい のあてかたをデザインした人	佐久間巨照
えんしゅつ ほ えんしゅつ ひと 演出補 (演出をたすけた人)	花輪 充
せいさく げき まかく ひと 制作 (劇を企画した人)	田辺慶一

演劇 遊玄社 〒164-0003 東京都中野区東中野3丁目4番2号
TEL.03-3369-4319 E-mail: tc@yugensha.co.jp

げき 劇について.....

「音楽劇・イソップランドの動物たち」は、日本でも古くから知られているイソップ物語のたくさんの話の中から、8本を選んで音楽劇にしたものです。

音楽は南アフリカ共和国出身 (現在はカナダに住んでいます) の民族音楽家テンバ・タナさんが担当しました。アフリカの人たちが作っためずらしい楽器を使い、出演者がすべての音楽を舞台の上で演奏し、歌います。曲目は南アフリカ、ナミビア、マラウイ、ジンバブエ、モザンビークなど、アフリカ南部の国に昔から伝わる仕事の歌、子守歌、それにわらべ歌などです。



ものがたり

◆ライオンとネズミ

ライオンが昼寝をしていると、小さなネズミがぶつかりました。ライオンはネズミをつかまえると、すぐに食べてしまおうとします。ところが――

◆キツネとカラス

カラスがチーズをくわえて、高い木の上で休んでいるところへキツネがやってきて――

◆犬とオンドリとキツネ

犬とオンドリが仲良しになり、いっしょに旅に出ました。夜になり、オンドリは木の上で、犬は門番のために根もとの穴で寝ました。夜明け近くになり、オンドリがいつものように「コケコッコー!」と時を告げたので、ニワトリが大好きなキツネに見つかってしまいます――

◆カニのおやこ

カニの親子がいました。お父さんカニは、子どものカニが横にしか歩かないのを見て、怒りだしますが――

◆アリとキリギリス

夏の間は働かないで遊んでばかりいたキリギリスが、冬が近づき食べ物もすっかりなくなり、働きもののアリの家をたずねますが――

◆オオカミと羊番の少年

羊番の少年が村の人たちにいたずらをしてやろうと、オオカミが出たとうそをつきます。なんどもなんどもうそをついているうちに――

◆ウサギとカメ

うまわつぎ足の速いウサギと、足のおそいカメが競走をすることになりました――

◆王様を欲しがったカエルたち

よごれた池に住むカエルたちのお話です。きれいで住みやすい池にしてみらうために、りっぱな王様をさずけてくださいと、神様にたのみますが――

この劇でうたわれる主な歌

「イソップランドの動物広場」

さあ歌おう さあ踊ろう 動物たちと遊ぼう
 笑い声 こだます イソップランドの広場
 ほら見えてくるよ たいせつなものが
 やさしい心と あふれる笑顔
 さあ歌おう さあ踊ろう 動物たちと遊ぼう
 笑い声 こだます イソップランドの広場



「イソップランドの動物たち」

(原曲: CHENGA MIRA)

CHENGA MIRA HIZOSITORA USISEE
 NKULULEKWENI
 意味(友だちはいのちと同じ みんないっしょに きてごら
 んみんなで しあわせもちよう)
 CHENGA MIRA HIZA HIZA HIZA HIZA
 (友だちはいのちと同じ そうさ そうさ そうさ そうさ)
 CHENGA MIRA HIZA HIZA HIZA HIZA
 (友だちはいのちと同じ そうさ そうさ そうさ そうさ)
 イソップランドの動物の話は そんなにむかしの遠い
 話じゃない
 ほら いつでもある どこでもある そんな話
 今日の話 パパの話 ママの話 きみの話 ぼくの話

この劇で使われるアフリカの楽器

●ジャンベ (Zimbe)

西アフリカでよく使われるたいこです。大きなさかずきのような形のお
 かげで、低音から高音までいろいろな音色が奏でられます。

●アペンテマ (Appentema)

アフリカ南部で使われているたいこで、一本の木をくりぬいて胴を作
 ります。スプリングボックなどの野生の鹿の皮を張ります。

●マリンバ (Marimba)

アフリカの木琴です。ムクワというかたい木で鍵盤を作り、ひょうたん
 を下につけて音を大きくします。この劇で使われているものは、ジンバ
 ブエ第二の都市ブラワヨの楽器屋さんに作ってもらったものもあり、そ
 れには、ひょうたんのかわりにプラスチックの管が使われています。

●ンビラ (Mbira)

英語でフィンガー・ピアノ (指ピアノ) と呼ばれています。アフリカの代
 表的な楽器の一つです。板の上に取りつけられた金属の鍵を親指と
 人さし指ではじいて演奏します。

●カバサ (Kabassa)

ひょうたんにじゅず玉をぬいこんだ網をかぶせてあります。
 マラカスのもとになった楽器です。

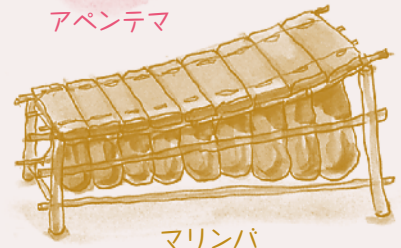
●カンコグイ (Kankogui)

英語ではカウ・ベルといい、牛の首につける鐘のことです。
 棒でたたいてリズムをとる楽器です。



ジャンベ

アペンテマ



マリンバ



ンビラ



カバサ

カンコグイ

えんげきしゅうだん ゆうげんしゃ しょうかい
・演劇集団 遊玄社の紹介・

ゆうげんしゃ えんしゅつ か せき やゆき おし ぶ たいげき と く はいゆう
遊玄社は、演出家・関矢幸雄氏のもとで、舞台劇やミュージカルに取り組んできた俳優とスタッフが
あら えんげきそうどう か のうせい もと ねん せつりつ えんげきしゅうだん けいしき かんきやく ねんれいそう
新たな演劇創造の可能性を求めて、1994年に設立した演劇集団です。ジャンルや形式、観客の年齢層
にもこだわらない自由な発想の舞台創りを目指しています。また、演劇の最大の魅力は『生』であるとの
かん はいゆう しんたい こえ ひょうげん さいじゅうようし おんきょう きざい いっさいつか おんがくげき と く
考えから、俳優の身体と声の表現を最重要視し、音響機材を一切使わない音楽劇に取り組んでいます。



し 知ってますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、
世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。